

防災を当たり前に！
そなえる、おぼえる、たすけあう（札幌地本）
【札幌市立大学 桑園キャンパス】

自衛隊札幌地方協力本部は、令和7年10月19日（日）札幌市立大学 桑園キャンパスで開催された防災イベント「もしも北海道2025 in Sapporo」において広報活動を行いました。「もしも北海道2025」のテーマは「～防災、防犯、エコ～」を掲げ、ステージイベント（アイドルLIVE、落語、よさこい、ダンス、吹奏楽）、防災ミニ講話（厳冬期の避難生活における健康管理等）、防災企画（体験して学ぶ、やって・見て学ぶ、現場の人から学ぶ等）による各種イベントが催されました。

広報ブースには、約200名が訪れ、装備品展示、応急処置体験、グッズ等の配布、制服等の試着を行うとともに、札幌地本のマスコットキャラクター「羊のモコ」が来場者とふれあい、記念撮影等で場を盛り上げました。

装備品展示では、第18普通科連隊から人命救助システムと救護用医療のうを展示し、応急処置体験では、心肺蘇生訓練人形及びAEDトレーナを使用した心肺蘇生法と救急包帯及び止血帯を使用した応急処置を行い、防災について地域の皆様と一緒に考える機会となりました。

本活動にあたり、北部地区隊の広報官が、希望者に対する自衛隊の説明やパンフレットの配布、イベント案内のアンケート収集、総務課の衛生科（准看）陸曹が職種説明を行うなど自衛隊や札幌地本の活動にご理解をいただきました。

札幌地本は、引き続き様々な催事に積極的に参加し、自衛隊をより身近に感じていただけるような活動を継続していきます。



琴似中学校吹奏楽部とモコ



よさこいチーム「札幌市立大学～真花～」とモコ



龍谷学園高校ダンス部とモコ



モコよりプレゼント贈呈（モコちゃんグッズ）



A E D トレーナを使用した心肺蘇生法



止血帯を使用した応急処置



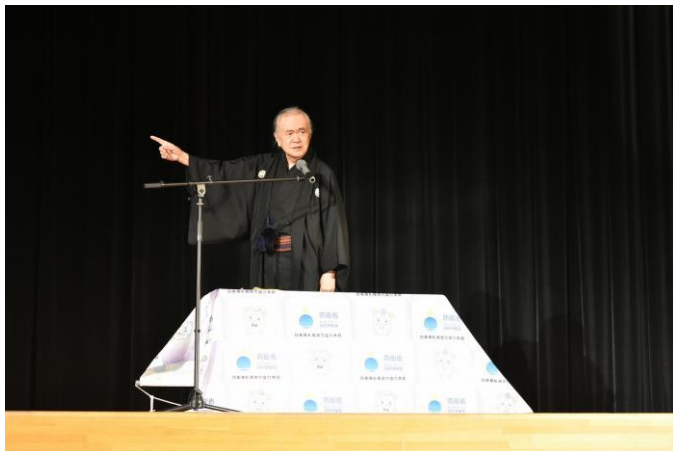
衛生科（准看）陸曹が職種説明



広報官の活動



モコモ段ボールベッドで就寝体験



落語（林家とんでん平）
高座台はモコタペストリー



制服の試着

